



## 輸血部

### ●主な業務

#### 血液の保存・管理業務

血液センターから届いた輸血用血液の適切な保存、管理を行います。

#### 検査業務

ABO血液型、抗体スクリーニングなど安全な輸血のための検査や輸血副作用時の検査のほか、細胞性免疫検査、造血幹細胞移植における検査などを行っています。

#### 採血・造血幹細胞移植に関する業務

院内各科における自己血輸血のための自己血採血・管理を行っています。また、血液内科、小児科と連携し、造血幹細胞移植療法的一端を担っています。

#### 臍帯血バンク業務

認定NPO法人兵庫さい帯血バンクの臍帯血の調製・保存・出庫業務などを担当しています。

#### 血液型抗体・輸血副作用 などに関する医療相談

血液型抗体や輸血時の副作用に関することなど、安全な輸血を行うためのさまざまな医療相談に対応しています。

輸血部は、院内における輸血事故の防止、輸血の安全性の確保、適正輸血を目指し、血液の保存・管理や各種検査を行っています。また、輸血副作用に関する調査や、輸血関連情報の管理のほか、造血幹細胞移植に関わる業務、臍帯血バンク業務などを行っています。



### 安全で適正な 輸血のために

輸血部  
かい しゅんろう  
甲斐 俊朗 部長

輸血部では、主に兵庫医科大学病院での輸血や造血幹細胞移植にかかわる業務を行っています。血液の型というABO式とRh式が良く知られていますが、そのほかにも分類があり、200種類以上といわれています。また、過去に輸血を受けたことのある方や、妊娠を経験した女性は、赤血球に対する抗体ができているため、輸血による副作用が起こらないよう、血液センターから届いた輸血用の血液と患者さんの血液がきちんと適合するかどうか、綿密に検査を行います。さらに、各科の医

師とともに輸血療法委員会を開催して輸血の安全性の確保と適正輸血のための連携を強めるとともに、定期的に各病棟などをまわって現場でのチェックも行っています。

兵庫医科大学病院で行われる骨髄移植や臍帯血移植などの造血幹細胞移植の数は、全国でもトップクラス。輸血部では、血液内科や小児科と連携し、その一端を担っています。また、認定NPO法人兵庫さい帯血バンクの業務を担当。連携する15の施設から集められた臍帯血を保存・管理し、臍帯血移植のために全国に提供しています。

患者さんと直接お会いするのは、手術の準備として自己血輸血のための採血を行う時くらいですが、安心して輸血を受けていただけるよう、縁の下の力持ちとして頑張っています。